

162-0042 東京都新宿区早稲田町 12-3
Tel 03-3203-4581, Fax 03-3203-4582,
郵便振替口座：00130-1-11325, みずほ銀行早稲田支店普通預金 1150684

JP-162-0042 Tokyo-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3
rete: esperanto@jei.or.jp TTT: [http:// www.jei.or.jp](http://www.jei.or.jp)
uea-konto:jeia-b

広報委員会 2015.09.30

シリーズ「エスペラントの今」 No.4

エスペラントの現状を様々な面からご紹介するシリーズの第4回目をお届けします。
ご質問、取材問い合わせ等は、当協会広報委員会までお願いします。

■アジアの私たちをつなぐことばエスペラント

2004年、20万人が犠牲になったスマトラ島沖地震。2011年の東日本大震災、そして2015年のネパール大地震。多大な被害をもたらしたこれらの大地震や津波に翻弄された私たちやアジアの人々。それを乗り越え、希望を見出しながら生きる者同士が共通のことばエスペラントで交流を深め、語り合う講演会を第102回日本エスペラント大会の番組として行います。本大会のテーマは「厄災の向こうの希望」です。

大会ホームページ：<https://sites.google.com/site/jekparafoja/>

10/11 (日) 13:10-14:40 レザ・パーレビ (Reza Pahlevi) インドネシア

“ 14:50-16:20 プラディップ・ギミレ(Pradip Ghimire) ネパール

アチェ州で叔父さんが津波被害を受けたレザ、カトマンズ市内にいて大地震に見舞われ、直後からインターネットで状況を発信し続けたプラディップのふたりの若者によるエスペラントでの講演の他に、日本からも、3.11の経験を講演や本の出版、ウェブでの発信という形でエスペラントを使ってきたエスペランティストが話し、意見の交換を行います。

10/10 (土) 15:10-17:10 公開講演会「大震災とエスペラント」では、日本人の講演の後、上記のお二人もひとことずつ話す予定です。

母語の違う各国の人々が話し合うときに、英語が使われることが多いのは事実です。しかし、国家を超えた民衆の連帯、民間の交流に最も必要な共通のことばは、だれにとっても母語ではないエスペラントが望ましいと私たちは考えます。自ら学びとり、お互いに遠慮なく語り合えることばだからです。相手のことばや、その場にいる誰のことばでもない英語を使うことよりも、ずっと相手との距離を近づけるのがエスペラントです。

アジア、特に東アジア諸国のエスペランティストの交流は、80年代以降盛んになっています。「青年エスペラントセミナー」は、1982年日韓の若者が始め、途中から中国とベトナムも加わり、今年第34回セミナーを12/26-29、韓国プサンで行います。さらに、10/31(土)、山口県下関市のエスペラント図書館において、外務省により認定された日韓国交正常化50周年記念事業「日韓青年エスペラント交流会」が開催されます。<https://kongreso2015.wordpress.com>
アジアの若者たちが、エスペラントを用いて、お互いの考えを述べ合い、一緒に楽しみながら理解を深める機会です。国際交流というと、英語で、という認識が一般的ですが、これはあまりに一面的過ぎると言わざるを得ません。アジアのみならず、世界中の人々をつなぐことができることば、それがエスペラントです。最近インターネットで学べる講座がたくさんあり、多くの国でエスペラントを学ぶ若い人が増えています。